

映画上映会

文部科学省
特別選定映画

厚生労働省
推薦映画

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私

ぼけますから、



よろしくお願ひします。

ドキュメンタリー映画

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

H31/3/30(土)

グランシップ 会議ホール・風

全3回上映 開場はいずれも上映30分前です。

① **13:00~** 15:00~監督特別講演

② **16:15~**

③ **18:45~**

全席自由席 500円

当日、会場にて現金でお支払いください。

先着順
定員になり次第
受付終了となります。



監督・撮影・語り

ひとり娘

信友直子

【お問い合わせ先】

静岡市介護保険事業者
連絡協議会 事務局
電話:054-253-9373

主催:静岡市介護保険事業者連絡協議会・清水介護保険事業者連絡会

後援:静岡市、社会福祉法人静岡市社会福祉協議会、一般社団法人静岡市ケアマネット協会



かみちを向け、初めて気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。

**母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めめめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

**大反響のテレビドキュメンタリー、
待望の映画化。**

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。



ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友直子

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー奨励賞など受賞多数。



涙。椅子から立てないくらいの衝撃でした。(56歳女性)

いまだに涙がとまりません。思いやりが人生を豊かにすること。忘れずに生きていきたいです。(49歳女性)

まるでお家にお邪魔しているように。心がキュッと苦しくなったり、ぽっ、と心が温かくなったり。(29歳女性)

お三方の声のなんと優しいこと。こんな優しさに満ちた声の響きを聞いたことはありませんでした。(74歳男性)

番組にいただいた感想の一部です

考えさせられます。夫婦とは家族とは老いるとは…娘さんの泣きながらの撮影にもらい泣きました。(55歳女性)

ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」 上映会

3/30(土)

第1回上映 13:00~※第1回上映に限り、映画監督による特別講演があります
第2回上映 16:15~
第3回上映 18:45~

全席自由席 **500円**

(当日、会場受付にて現金でお支払いください) 開場はいずれも上映30分前です。

各回ともに定員**336名**、先着順。定員になら次第受付終了とさせていただきます
会場: **グランシップ**(駿河区東静岡2-3-1) 11階 会議ホール・風

【お問い合わせ先】
静岡市介護保険事業者
連絡協議会 事務局
電話: **253-9373**